



進路だよい

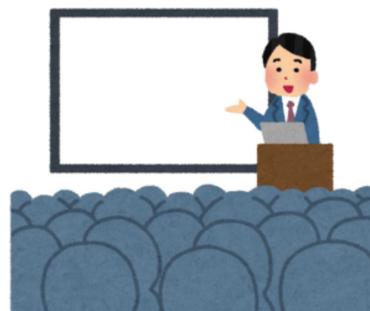
今週中に出願手続き確認票の提出をお願いします！



Vol.43 2021.11.30

「親子進路説明会」へのご参加 ありがとうございました

11月19日（金）5時間目の授業参観時の「親子進路説明会」に多数の保護者の皆さんにおこしいただきありがとうございました。今回の「親子進路説明会」では、各高等学校等の募集要項の昨年度と異なる点や願書等の提出書類の記入の仕方について等について説明しました。60分という短い時間でしたが、私の話も要領を得ず、わかりにくかった点多かったかと思いますが、もしお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくご質問ください。



第2回定期テストが終了しました！

11月16日（火）から本格的にテスト勉強に取り組んできた第2回テストが終了しました。今回は2021年の締めくくりのテストであるとともに、受験前最後の定期テストだということもあって、きっとたくさんの生徒が本当によく頑張ってくれたはずです。朝早くに登校してすぐに朝勉に取り組む生徒がいましたし、昼休みにもテスト勉強に取り組む生徒もいました。今週はそれぞれのテストが返ってきています。各教科とも間違っただけのやり直しのための訂正ノートの提出が始まっています。



定期テストや実力テストで大切なことは、点数だけではないと思うのです。確かに点数は、今の自分の実力を知るための物差しではありますが、しかしもっと大切なことは、「テスト前にどれだけ頑張ったか」ということと「テスト後にどれだけ復習ができたか」ということだと思うのです。さあよいよ受験は目前です！今回の定期テストでも、単に得点の反省だけではなく、定期テストに向けていかに真剣に取り組んできたかという反省点を見つけて、来たるべき受験に備えていこう！

テスト勉強「今度こそ！」学習計画表の結果から

今回も定期テスト勉強学習計画表に毎日勉強時間を記入してもらいました。最初の3日間の記録は「親子進路説明会」で配布しましたが、その後25日でその全ての記入が終了しました。

今回も10日間テスト勉強合計時間の目標を2400分としましたが、クラス28名の平均勉強時間が2133.4分となりました。残念ながら目標の2400分にはとどきませんでした。それでも第1回定期テストの勉強時間の1887分より飛躍的に向上しています。いよいよ私立入試がすぐそこに迫ってきたいです。定期テストが終わったばかりですが、さらなる向上を目指して、テスト勉強以上の勉強時間を確保していこう！まだ提出していないご家庭でも、ぜひ我が子のテスト勉強学習計画表に目を通していただいた上でコメントを記入して下さるようお願いいたします。

【ボクもう三年生やもん】

昔俺は JR大久保駅（兵庫県）から通勤していたのですが、週2日は午前10時までに会社に着けば良い時期がありました。

朝はゆっくりできるし、電車は空いていて快適でした。

ホームへの階段を降りてすぐの所にベンチがあり、そこに書類カバンを置いて缶コーヒーを飲んで

「おかあちゃん！ここ座れるで！座りや！」

と小学生くらいの男の子。

しまったと思い、俺はベンチのカバンをどけました。

「ほら二人座れんでー」

母親と目が合い、俺は座る所にカバンを置いていたバツの悪さから会釈しました。

「おっちゃん！ここ座るとこやで！物置いたらあかんねんで〜」

「ごめんな〜、ぼうず偉いな〜」

「ボクもう三年生やもん」（おい鼻水出てるぞ）

親子はそこから二つ目の明石駅で降りて行った。

仲が良さそうで、何だかいいなあと思いました。

それから何度かこの親子と一緒にになりました。

「おっちゃん、また大きいカバン持って…仕事大変やな〜」（こんなおじさんにむかってタメ口かよ・・・）

その度にこの子供とは話をするようになったのですが、

「おかあちゃん、おかあちゃん」

と言っているこいつがまあまあ可愛く思っていました。

ところが暫くこの親子とは会わなくなり、俺もこの遅い出勤がなくなってしまっていた頃。

その日は日曜に休日出勤になってしまい、お昼頃にホームで電車を待っていると、例の子供が父親と居ました。

「今日はおとんとお出掛けか？」

「うん！いまからおかあちゃんどこ行くねん」（え？ 親は別居中？）

「おかあちゃん病院おってんけど、今日帰ってくんねん」

へえ…こいつが母親を気遣っていたんは、通院の付き添いやったからか。いいところあるやん。

「おっちゃんも仕事頑張れやあ」（やっぱタメ口かよ・・・）

それから半年くらい経って、駅前がクリスマス一色になった頃、俺は再びその子供に会いました。

「今日は一人か？ おかんは元気か？」

「おかあちゃん死んでもてん…」

情けない大人で、何も言ってやれないまま同じ電車に乗りました。

そんな重い病氣やったんや…。

だからこいつはあんなに気遣って、おかあちゃんおかあちゃんて…。

この半年、めっちゃ悲しい思いしたんやろなあ。

そんなことを考えていたら、電車の窓の外を見ながら泣けてきました。

俺が降りる駅が近付いて来て、

「どこまで行くん？ 一人で大丈夫か？」

「大丈夫や！」

「ボクもう三年生やもん」

（今度は俺が鼻水出してしまいました）